

自分史上、
想像以上!

ここが変わっさ 追大ライフ Otemon Gakuin University

コロナ禍の“アレコレ”を徹底解明!!

猛威を振ったコロナ禍は大学生のキャンパスライフをも一変させました。

そんな状況でもいち早くオンライン授業に対応するなど、追大らしく前を向いてきた2020年。

その追大ライフを振り返りながら、ニューノーマルな時代に踏み出していきましょう。

【企画・取材・撮影：学生広報スタッフ】

激動の2020年! コロナ禍での“追大生活”

ここが変わっさ
追大ライフ
☆☆☆

WHO 新型コロナウィルスを確認
3密回避の呼びかけ
世間の出来事
追大の出来事
1 JAN
2 FEB
3 MAR
アサーティブ 学位授与式と入学式のガイダンスを中止
中止を発表

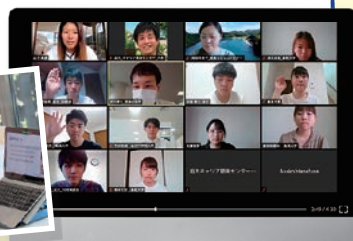
topic 1 4.9 (THU) オンライン授業開始



昨年は多くの大学がゴールデンウィーク明けから授業を再開した中、本学は予定通り4月9日からすべての授業をオンラインに切り替えてスタート。大学に通学できない生活は不安もあったかと思いますが、大学において最も重要な「学びを止めない」ことを実現し、本学にとって新たな学修モデルへの大きな一歩となりました。

#インターンシップもオンラインに!

会社に向いてのインターンシップが難しい状況の中、本学は独自にオンライン型インターンシッププログラムを開発。今までにない取り組みに多くの企業が賛同し、学生も意欲的に参加してくれました。



#メッセージ動画の配信

平常時とは異なる形で春学期がスタートしたことから、学長・副学長・教務部長、さらには全学部長・基盤教育機構長から学生に向けたメッセージ動画を配信しました。

QRからメッセージを
CHECKしよう!



topic 2 6.8 (MON) 対面授業一部再開



5月21日に緊急事態宣言が解除され、春学期の授業は全てオンライン授業としつつも、6月8日から感染防止対策を講じた上で実技・実習を伴う授業を一部総持寺キャンパスで再開しました。入口には感染防止の水際対策として、大きなサーモカメラやアルコール消毒液が設置されました。

topic 3 9.14 (MON) 秋学期対面授業開始

秋学期はオンラインを併用しながら、全体の約7割の授業を対面形式で再開。2020年度新入生からは「学生生活が始まった実感がわいてきた」という声も。



入口は1箇所制限され、学生一人ひとりが体温チェックと消毒を行うことを徹底しました。



食堂の各テーブルにはアルコール消毒液はもちろん、飛沫感染防止用のアクリル板も設置されました。



対面授業では、学生同士は間隔を空けて着席し、マスクを着用することが徹底されました。



屋外で行われたクラブ・サークルの勧誘ウィーク。学内も徐々に賑わいを取り戻し始めました。

topic 1 4 APR

緊急事態宣言

topic 2 6 JUN

Go Toトラベルキャンペーン開始

topic 3 9 SEP

Go Toイートキャンペーン開始

topic 4 11 NOV

協定校とオンライン交流

topic 5 12 DEC

コロナ第3波到来

#学長言伝(ことづて)

学生が大学へ入構できない間、真鍋学長が学生に向けて、週1回のペースで日常のトピックに関連したメッセージを送りました。

QRから学長言伝を
CHECKしよう!



topic 4 11.1 (SUN) オンライン学園祭開催!



コロナ禍において、一時は中止も危ぶまれましたが、模索をくり返した結果、ライブ配信と事前収録によるオンデマンド配信という新しい形で学園祭を開催。前代未聞の状況の中、学院とスタッフはテーマとして掲げた「『未来永劫』～人を集めず、人をつなげる～」を見事に実現しました。

topic 5 12.19 (SAT) キャンドルナイト無観客開催



「日常～なげない日常に5分間の癒しを～」をテーマに安威キャンパスにて無観客開催し、YouTubeで動画配信しました。学生スタッフの1年間の取り組みが、約4000個のキャンドルと13個のオブジェによって幻想的な風景を作り出しました。



#YouTubeでも勧誘活動を行いました!

例年どおりの勧誘活動が難しい中、各クラブ・サークルは独自にYouTubeを使った動画による勧誘を始めました。学生の努力と試行錯誤が垣間見える内容です。



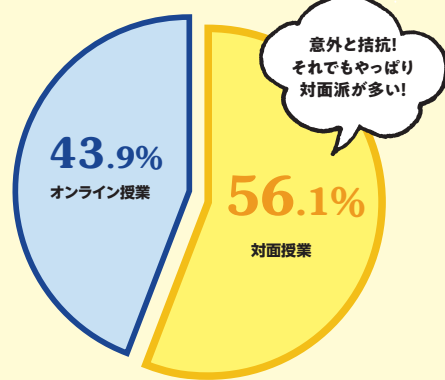
地域の人の願いを
一枚一枚貼って作りました



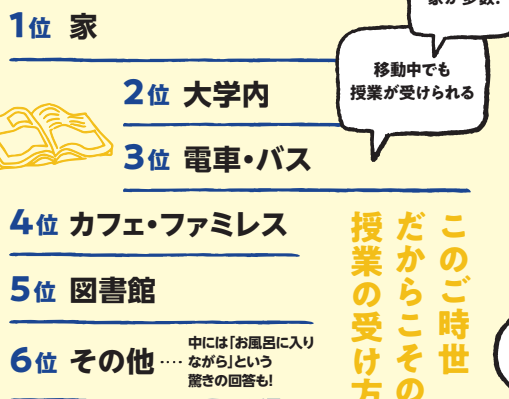
初のオンライン開催で
緊張のなか、
最高の演技を披露!



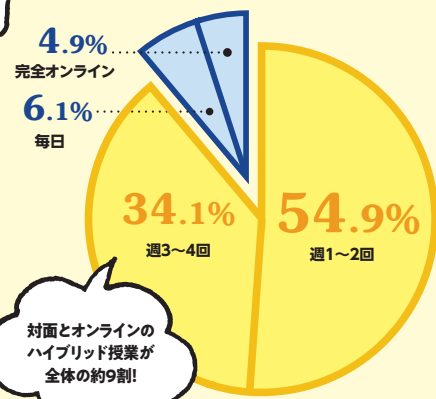
Q 対面授業とオンライン授業
どっちが好きですか？



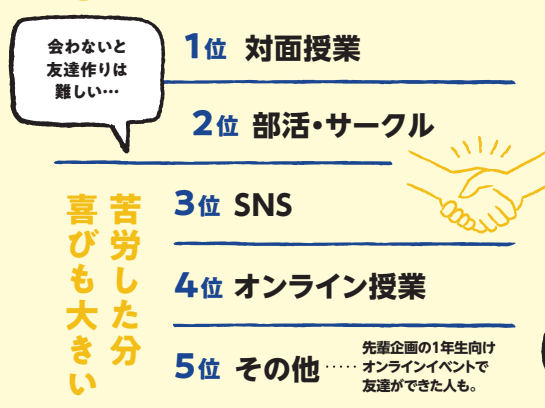
Q ライブ配信の授業は
どこで受けましたか？(複数回答可)



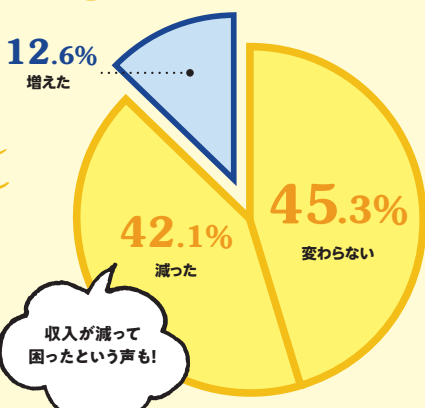
Q 秋学期は週に何回学校に
来ていましたか？



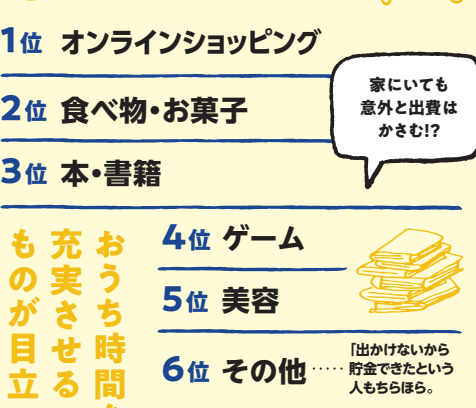
Q 大学の友達をどこで
つくりましたか？(複数回答可)



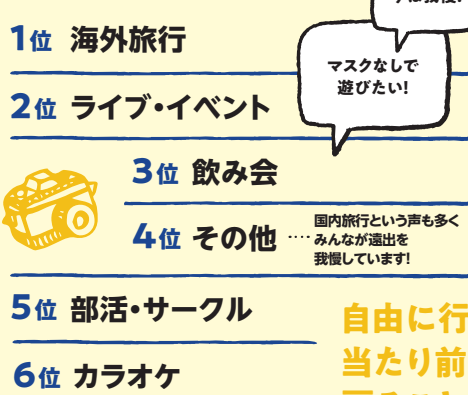
Q コロナの影響でバイトは
減った？増えた？



Q 自粛期間中は何に
一番お金を使いましたか？



Q コロナ収束後に一番
やりたいことはなんですか？



みんなのオンライン授業あるあるや、
おもしろエピソードが共感できる！

ネットの通信が遅くなりがち。
そして何人か変な顔で固まる。

国際教養学部 国際教養学科 1年

先生が「カメラオフでもいいです」と
言った瞬間に全員カメラを切る。

経営学部 マーケティング学科 4年

担当教員のバーチャル背景が
常夏のビーチでじわる(笑)

心理学部 心理学科 4年

つつい先生の画面ではなく
イケメンの画面を眺めてしまう！

経営学部 マーケティング学科 2年

女子は家でも
マスク率高し！

経済学部 経済学科 3年

下半身は
だいたいパジャマ。

社会学部 社会学科 2年

授業終了時の「ありがとうございました」
というコメントだけ異様に多い。

心理学部 心理学科 2年

本当のところどうだった？コロナ禍での生活 “追大生300人に聞いてみた！”

ここが変わった
追大ライフ
☆☆☆

ここが変わった
追大ライフ
☆☆☆

時間があつたからチャレンジできた！ コロナ禍での“追大生の新しいトライ”

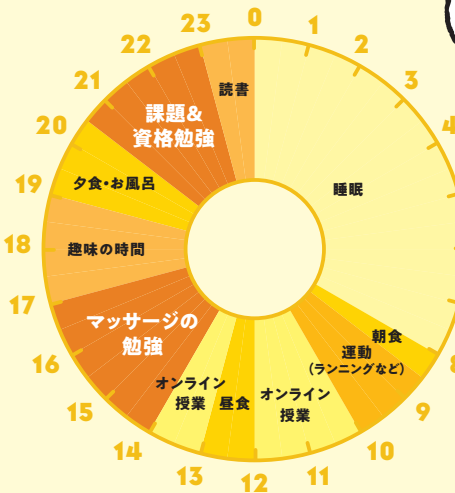


タイ古式マッサージ師の 資格を取得しました！

加藤 大希さん 国際教養学部 国際教養学科 2021年3月卒業

タイ古式マッサージ師資格を取ろうと思ったきっかけは、2年生春休みに行われたフィリピン短期留学に行った際、現地で受けたマッサージの気持ちよさに感動したからです。今まで通学に片道2時間かけていたのですが、オンライン授業が増えたことで、その時間を資格取得のために有効活用でき、3月から週1回約3時間のタイ古式マッサージの学校に通い、9月に無事資格を取得できました！

ある1日のスケジュール



マッサージ以外の勉強もして
介護福祉士実務者研修という
資格を取得できました！



資格を取るために始めたアルバイトですが
すごく楽しく、やりがいがありました！

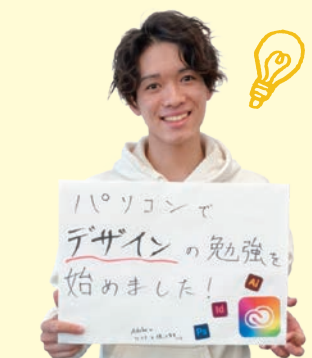
他にもこんな“新しいトライ”



宇野 あゆみさん
地域創造学部
地域創造学科 3年



赤松 雄太郎さん
社会学部
社会学科 4年



大矢 皓登さん
地域創造学部
地域創造学科 3年



佐竹 彩佳さん
国際教養学部
国際教養学科 2021年3月卒業

副学長からのMESSAGE

学生みなさんへ

2020年度は忘れられない一年になりました。春学期は全面オンライン授業で大学への入構不可。秋学期も3割がオンラインとなり、皆さんの学生生活は一変しました。しかし、逆境の中、学生会追風をはじめ、皆さんの創意と工夫により、オンラインによる様々な行事が実施され、追大生の熱意と魂はこのコロナ禍でも健在であると感じています。今後もしば

らくは、いつもと違うかたちの勉学・ゼミ活動、スポーツ活動、文化活動などが続くと思いますが、皆さん一人一人が思考を重ねて新たな活動方法や楽しみ方を見つけ出すことが大切だと思います。楽しみながら力や知恵を蓄えることができれば、想像以上の実力が身につくはずです。ポストコロナにおいて皆さんの実力が花咲くことを楽しみにしています。



副学長 松井 健

「自分史上、想像以上」の経験を掴み取れ！

追大生の学生生活をPICK UP!

追大には学生生活を充実させる様々な活動が用意されています。何気なく過ごす日常を、自らの成長につながる毎日に。大切なのは、まずそのはじめの一歩を踏み出すことです！

1年生から実践的に学び 社会で通用する力を磨く。

行動して経験したもん勝ち！悩んだり、不安な時こそ動く！



経済学部 経済学科 4年 2021年3月卒業 **永野 智哉さん**
2年生のガンバインターンシップが転機です。ビジネスで使うフレームワークや、PDCAを回す姿勢が身に付きました。海外インターンシップも経験し、どこでもやっていける自信が持てました。

POINT 01 豊富なインターンシップ

大学独自の実践型インターンシップをはじめ、他国の文化に触れる海外インターンシップなど、追大だからこそ経験できることが数多く用意されています。もちろん1年生から参加可能です！

2019年度は294名が117社へ！1年生は103名が参加！

挑戦し行動したから、新しい気づきや自分の世界を発見できた



社会学部 社会学科 4年 **豊島 将己さん**
演劇創作を行う舞台表現プロジェクト(STEP)に1年生から参加し、毎年作品を仲間と創作する中で、人と協働する力、社会のニーズを捉え、世の中に発信するスキルが身に付きました。

POINT 02 OIDA! WIL

本学では、行動して学び、学びながら行動する大学独自の学修スタイル「WIL (Work-Is-Learnig)」を全面的に展開しています。行動を通じて学修を行い、経験を蓄積することで予測困難な状況の中でも行動し学び続ける力を養います。

WILの活動レポートを公開中！記事は随時更新！



資格取得に挑戦！ 自分の将来を切り開く。

自分にプラスになる付加価値を！険しい道でも逃げずに進む！



経営学部 経営学科 3年 **川畑 和嗣さん**
国家公務員を目指し、資格講座と自学に毎日取り組んでいます。「険しい道を進まないと次につながらない」と攻めの姿勢で、行政書士試験にも合格し、自分の自信にも繋がっています。

POINT 圧倒的な合格実績

公務員志望の学生を全面的にサポートしています。徹底したグループ学習で「学びあい、教えあい」による学習習慣の定着を図り、目標を共にする仲間と共に勉強に励みます。

宅建(宅地建物取引士)
合格者75名(2019年度実績)

合格率 **80.5%**

[全国平均合格率 17.0%]

行政書士
合格者29名(2020年度実績)

合格率 **50.9%**

[全国平均合格率 11.5%]

2020年度は国家公務員に3名が合格！

熱くなれるモノを求めて クラブ・サークルに打ち込む。

高校は運動部のマネージャー。大学からはラクロスに挑戦！



社会学部 社会学科 4年 **井上 陽菜さん**(ラクロス部 主将)
クラブは大変だと思われがちですが、日々成長している実感がありません。学生たちだけでチームづくりをするので、積極性と自分ごとに考え行動する力が身に付きました。

POINT 公認クラブは51団体！

51の公認クラブは、「トップアスリートグループ」、「アスリートグループ」、「文化グループ」、「応援団」からなり、全てのクラブが主体的に活動を行っています。



CLUB BOOK
2021

クラブ情報を
CHECK!



サークルブック
2021

サークル情報を
CHECK!



OTEMON COLLECTION

VOL.11

特集 | 大学生に大人気!「GU」アイテムを取り入れたコーディネート |

interview & text : 小谷 菜穂 / 穴山 あやめ



コーデロイのパンツ & 万能スニーカー

コーデロイのパンツはキレイめの服にも合わせられるのでお気に入りです。ファストファッションは被りやすいので、少し変わった素材のものを選ぶことを意識しています。ZOZOTOWNなども使いますが、やっぱり実際にお店で実物を見る方が好きですね。今後はパステルカラーを取り入れてみたいです。

岩松 凱さん
IWAMATSU KAI
経済学部 経済学科 3年

白スウェットトップス & 優秀チェックパンツ

チェックパンツはシンプルなトップスとの相性が良いですし、冬は黒のニットと合わせたり、いろんなシーンで使えます。ファストファッションはシンプルなデザインが多いですが、こういった柄ものをアクセントとして取り入れると、あまり安っぽく見えないので、そういう意味でも気に入っています。

中西 七望さん
NAKANISHI NANAMI
経営学部 経営学科 4年

透け感が大人っぽい 黒のプリーツスカート

映画館デートをイメージしてコーディネートしました(笑) 最近買ったこのスカートは2000円しなかったと思います。それでいてあまり値段を感じさせない大人っぽさもあり、どんな色にも合わせられるので使い勝手が良いです。ファストファッション以外ではOLIVEやレトロガールの服をよく買います。

三浦 麻衣さん
MIURA MAI
社会学部 社会学科 3年

ブラウントップス & 冬大活躍のパンツ

トップスとパンツ両方GUです。ファストファッションの中でもGUはカラーバリエーションが豊富なので好きですね。パンツをロールアップして少しソックスを見せるのも着こなしのポイント。今まではけっこうシンプルな服が多かったのですが、今後はアメ村系とかストリート系ファッションも挑戦してみたいです。

橋本 篤さん
HASHIMOTO ATSUSHI
経営学部 経営学科 4年



「生き甲斐」との出会いが小学校1年

「ラグビーは生き甲斐」。そう語る室越さんが初めて楕円形のボールを手にしたのは小学校1年生のとき。ラグビーを体験し、「やってみると楽しかった。仲間とともにトライを目指すチームスポーツに魅力を感じました」と、6歳の少女が出した結論はラグビーを続けること。その後、小学校3年生からはラグビーと並行して女子ラグビーのクラブチームに加入し、中学生では学校の部活に加わず、クラブチームの厳しい練習で鍛錬を積みます。

選んだ高校は、地元から遠く離れた追手門学院高校(追高)。「大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会」で優勝実績のある追大の女子ラグビー部と一緒に練習ができる環境に魅かれて入学します。「求められる技術レベル

が高くて、それに応えるように毎日頑張りました。レベルは向上したと思います」。追高時代には早くも世界を経験。高校2年生でユース代表に選出されるまでに成長を遂げます。

追大入学後も、日本代表選手として着実にステップを踏んできました。2019年7月にイタリアで開催された「ユニバーシアード夏季競技大会 2019」に代表選手として参加。日本女子ラグビー史上、初の快挙となる金メダル獲得に貢献します。ユニバーシアードは“学生のための五輪”と呼ばれる大会。しかし、この頃すでに室越さんが見据えていたのは出場国枠を持つ“東京の五輪”です。同年10月には女子SDS(セブンズ・デベロップメント・スコッド)フィジー遠征の参加メンバーに選ばれ、トレーニングと大会出場を精力的にこなします。「五輪に向けての強化」という意味合いの強い遠征でした。



自分史上、
想像以上!

「想像もしなかった自分史」を
始めた学生の肖像

Vol.12

怪我を乗り越え世界で通用する選手に

「フィジーでは何カ国かの代表チームと練習試合をさせてもらい、自分たちのレベルを知るいい機会になりました」。日本代表チームの稲田仁ヘッドコーチからは課題を告げられながらも、「オリンピックでも通用する選手ではある」という言葉を掛けられます。「励みになったし、やる気が出ました」と室越さん。自身の課題は把握しています。「世界と比較して足りないのはフィジカル面。小柄なのでよく倒されてしまう。負けていないのはアジリティ(敏捷性)。得意のステップは通用すると感じました」と語る158cmのスクラムハーフは、フィジカル面を鍛え上げるべく、日々のトレーニングと1日に2合の米を欠かすことはありませんでした。そして、2020年10月に東京五輪女子セブンズ日本代表候補合宿に選出されます。

ところが2020年12月、アクシデントが発生。練習中の接触で右膝前十字靭帯断裂の大怪我を負ってしまいます。その瞬間、「ボキボキ」という音が聞こえたとか。「なぜこの時期に…(五輪に)間に合わない!」という不安が頭をよぎったのは当然です。通常、競技復帰まで8ヶ月から1年を要する負傷。普通のリハビリでは五輪は絶望です。怪我の4日後、男子代表に帯同した経験を持つトレーナーの元を訪れます。「間に合わせる」の一言に希望を見いだした室越さんは、「この人に任せよう」と厳しいリハビリの道を選択。本誌が発行される頃には、再び練習に励んでいるはず。

「出場するからには主力として結果を残したい。チームの目標はメダル獲得です」と、五輪への思いを語ってくれました。東京五輪出場は、本人と追大皆の願い。その巧みなステップワークと大きな外国人選手をなぎ倒す姿を、世界中に見てほしいものです。頑張れ、室越!



東京五輪 女子ラグビー(セブンズ)
日本代表候補
社会学部 社会学科 3年
[追手門学院女子ラグビー部VENUS 所属]
Kana Murokoshi
室越 香南さん

足立 重和

教授

社会学部 社会学科

SHIGEKAZU ADACHI

[interview : 坂田 莉菜 / 佐竹 彩佳]



1969年兵庫県生まれ。1991年追手門学院大学 文学部社会学科(現社会学部社会学科)卒業、1993年大阪教育大学大学院 教育学研究科修了、1996年関西学院大学大学院 社会学研究科博士課程単位取得満期退学。2006年社会学博士。著書に「郡上八幡伝統を生きた一地域社会の語りとリアリティ」(単著)、「環境社会学の考え方―暮らしをみつめる12の視点」(代表編著)などがある。専門は社会学(環境社会学、地域社会学、フィールドワーク論)。

郡上八幡とともに27年

大阪駅から名古屋経由で約4時間、岐阜県の「郡上八幡」駅にほど近いエリアは、夏になると千客万来の賑わいを見せます。観光客の目当ては、国の重要無形民俗文化財に指定され、地元住民と観光客と一緒に夜おどりを展開する「郡上おどり」。7月中旬から9月初旬にかけて30夜以上も続き、お盆の4日間にいたっては徹夜で踊る“日本一のロングラン盆おどり”と言われる伝統行事です。

この郡上八幡に長年通い続けるのは、社会学部の足立重和先生です。そのフィールドワーク歴は、なんと27年間に及びます。

昨年のおどりはコロナ禍でリモート開催となりましたが、例年郡上おどりの時期には、人口約1万3千人のこの地域に、全国から30万人もの観光客が押し寄せます。海外にもファンがおり、観光政策としては成功を収めているように見受けられますが、足立先生によると近年、地元住民の

地元住民の楽しみを 第一にした観光のあり方とは。

「おどり離れ」が見られるといいます。

「観光客向けにおどりのマニュアルを作成したり、免許状を出したりして観光振興を図ってきました。地元にお金落ちていい反面、おどりがよそ向きになったと敬遠する地元住民が出ています。おどりに暗黙のルールがあるのですが、悪気はなくても観光客がそれを守らないという問題も起きています」。

コロナ以前、「観光公害」という言葉をよく耳にしました。観光振興と地元住民の暮らしを両立させることは難しいのでしょうか。しかし、足立先生の関心はそれらの「両立」ではないようです。

「経済と地元住民の暮らしを五分五分のバランスで保ちたいというのはよくある論点です。でも僕はそうじゃない。経済は当然大切ですが、一番は地元住民が楽しく暮らせることです。今は経済のために自分たちのおどりを手放している印象があります。もう少し本来のおどりを取り戻してほしい。同時に、観光客と地元住民が分断しないことも大切。訪れる側も通り一遍の観光地巡りだけでなく、地元の暮らしを尊重しながら、現地の人々と触れ合うのが理想です。そのうえで、地元住民の楽しみを第一に据えた観光のあり方とは何か。これが僕の関心事です」。

変化とは創造でもある

一方で、それはおどりの形式を崩してはいけないということを意味しません。400年の伝統を誇る「郡上おどり」も、実はその形を様々に変えながら存続しているのです。

「守り抜くのは、あくまで地元住民の楽しい暮らしです。よくある勘違いは、伝統を保存するために一切形を変えてはならないという思い込みです。現に、郡上おどりは戦前と戦後で大きく変わっています。大切なのは、その時々で自分たち

が最も盛り上げられるかどうか。よい変化とは、創造なのです。変えてはならないのは形よりも心。それが足立先生の考えです。

地域連帯のヒントを求めて

足立先生は2010年8月、博士論文の成果をもとにした本を上梓しました(プロフィール欄)。すると地元の人々が「出版記念パーティーをしよう」と呼びかけ、その場に市長まで駆けつけてくれたのだとか。足立先生がいかに地域に深く入り込んでいることがよくわかります。郡上八幡に通い出してすでに27年。11年前からその頻度は月に1度となっています。

「郡上おどりを研究していますが、今はさらに突っ込んで地域の人間関係を調べています。郡上八幡には頼母子講(たのもしこう)という自分たちでお金を融通しあう互助組織があり、毎月その場に参加しています。金融機関に頼らず、皆が預けたお金を必要とする人に順番に提供するしくみです。この街にはまだこんな密接な人間関係が残っているのです」と足立先生。ご自身も頼母子講の一員として会費を支払い、その日は皆で酒を酌み交わすという“フィールドワーク”を続けています。

「今、都心部を中心にコミュニティの関係が希薄になっていると言われています。頼母子講の研究をとおして、地域の連帯を取り戻すヒントを探っていきたいと考えています」。

郡上八幡でのフィールドワークを始めて、そろそろ30年の節目を迎える足立先生ですが、この歩みはまだ終わりそうにありません。

スタッフの視点から

取材を通して足立先生は本当に郡上八幡が好きなんだと感じました。好きだからこそ何年も研究し続けることができ、学生に魅力を伝えられるのだと思います。これからも郡上踊りを知ってもらうためにぜひ本を出版してほしいです。(坂田 莉菜)

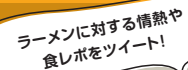


Vol.9 【SNSインフルエンサー】

個人の趣味や大学の取り組みでも、多くの人々とのつながりを生むSNS。
その輪を日々広げ、様々な情報を発信しているのが、追大のインフルエンサーたちです。
多くのフォロワーを持ち、大きな影響力を持つ追大生のSNSに対する本音に迫ります。

- ※記載しているフォロワー数は2021年3月1日時点のものです。

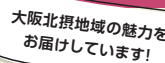
- ①「超」がつくほどラーメン好きで、その素晴らしさを伝えるために始めました。あと、コロナ禍でのサークル「麺魂」の宣伝も兼ねてます。
- ②見た人がそのラーメンが食べたいくなるように、いかに美味しそうに見えるかという点にこだわって、写真を綺麗に撮っています。
- ③このアカウントのおかげで美味しいラーメン屋を知れたとか、ラーメンを食べたい時にお店を探すのが楽になったと言われました。
- ④多くの部員を獲得（50人）できました。また、結構な頻度で食べたラーメンを投稿するので、SNS上では有名人になることができました。
- ⑤サークルの知名度を上げて、追大生にラーメンの良さを伝えたいです。また、学祭で部員全員で考えたオリジナルラーメンを提供したい。



川上 隆生さんのSNSアカウントはコチラ!



- 1 北摂地域の7市3町の活性化のため、北おおさか信用金庫と経営学部のある志のメンバーが連携して情報を発信していくことを目的にスタートしました。
- 2 学生や主婦層に興味を持ってもらうために、北摂地域の飲食店や観光スポットなどをできるだけ映える写真で投稿することです。
- 3 2017年から活動を始めたんですが、最近はDMで「お店を紹介してほしい」という声をいただくことが増えてきました。
- 4 この活動を始めたからこそ、私たち自身、今まで知らなかった北摂地域の素晴らしいスポットをたくさん知れたことです。
- 5 私たちの投稿で北摂地域に興味を持ってもらい、最終的には住んでもらえたら最高です。当面はフォロー1万人を目指しています。

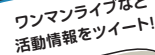


ほくせつ探検大学さんのSNSアカウントはコチラ!



何よりも歌うことが好き！
シンガーソングライターとして、
活動しています！

- ① SNSは今や誰でも見るもので、もしかしたら企業の人も見ているかもしれないので、そこで自分を知ってもらう場を作りたいと思ったからです。
- ② 自分が作った曲も投稿しているので、そういう時はなるべく歌詞も音楽に合わせて動画上に載せるようにしています。
- ③ ツイッターはオリジナル曲を投稿した時のいいねやリツイートが多く、インスタは知らない人からコメントをもらえたりします。
- ④ 得したこととは違いますが、投稿を持続させることでいいねの数が増えたり、拡散の協力してもらえたりすることがわかりました。
- ⑤ 直近の目標としては、自分が作った楽曲だけでオリジナルアルバムを作って、デジタル配信を試みたいと思っています。

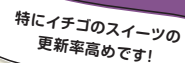


藤野 朱莉さんのSNSアカウントはコチラ!



カメラも好きなので、
写真にもこだわって
カフェ情報を更新しています

- 1 もともとカフェが好きで、記録用に残していただけなんです。20歳の誕生日に趣味でカメラを買ってから本格的に始めました。
- 2 写真を綺麗に取ることは大前提なんです。そこに添えるコメントも、気分に左右されずポジティブな内容になるように意識しています。
- 3 自分の投稿がきっかけでお客さんが増えたみたいで、お礼を言われたことがありました。また、同じ趣味の人と繋がることもできました。
- 4 たまにお店の方から「ぜひ来店してほしい」とお声をかけていただくことがあります。自分の中で興味がわいたお店には行ってみたりします。
- 5 趣味がきっかけで始めたアカウントなので、今後も変わらず続けていきたいと思います。もちろんフォロワー数も増やしていきたいです。

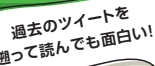


齋藤 信太郎さんのSNSアカウントはこちら!

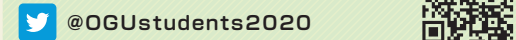


1年生の質問や相談に
なんでも答えました!

- 1 入学前教育がコロナの影響でなくなった中で、オンラインを使った活動を通じて1年生の力になれないかと考えたことがきっかけです。
- 2 質問の答えだけでなく、情報元と一緒に添えるようにした点です。また中の人を知ってもらうためにプロフィール画像なども投稿しました。
- 3 1回生からは「助かった」という声をはじめ、私たちが開催したオンラインイベントで「友達ができた」と言ってもらえ、嬉しかったです。
- 4 ゼロから何かを作り上げたことは自分たちの成長にもつながる経験になりました。余談ですが、就活で話せることも増えました(笑)
- 5 今までやってきたことを誰が見てもわかるようにまとめたので、後輩たちが引き継いで、来年もこの活動が続いてほしいと願っています。



追手門先輩企画さんのSNSアカウントはコチラ!





当初は売れ残りの発生も想定していたものの、ふたを開けてみると、想定外のスピードで250本がまたたく間に売れていきました。

追大生がクラフトビール 「しそとことん」を商品化！

追大生と醸造家の異色コラボで、
新たな商品が完成＆完売！

2020年10月、追大生と小豆島町のビール醸造家とのコラボによって新商品が誕生しました。追大の地元・茨木市の特産品である赤しそを原料とするクラフトビール、その名も「しそとことん」。330ml・800円という決して安くはない価格設定も、完売という上々の結果でした。今年も250本を生産予定です。

※公益財団法人日本醸造協会の「令和2年度醸造家人材育成基金助成事業」に採択されています。



こたわり満載！

姉妹都市“茨木×小豆島町” コラボプロジェクトについて教えて！

教えてくれた人 「プロジェクト第3期メンバー」



小林 史門さん
地域創造学部 地域創造学科 4年



堤 香蓮さん
経営学部 マーケティング学科 4年

Q 始まったきっかけは？

茨木市の姉妹都市・小豆島町を舞台に、島民の意識調査などのフィールドワークに取り組んでいました。しかし、我々島外の人間が地域に深く入り込むのは容易ではありません。そこで、現地の方々との信頼関係を深めるきっかけとしてこの企画が持ち上がりました。



Q どんなビールができた？

ビール特有の苦味がなく、しその風味が香るさっぱりした味わいに仕上がりました。ビールが苦手な人でも十分に楽しめるのではないかと思います。おもに同世代の人が購入することをイメージしていたのですが、30歳～40歳代の女性にも人気だったと聞いています。



プロジェクトの流れ

2016 〔第一期〕プロジェクト始動

研究所所長の佐藤友美子教授が小豆島町の地方創生有識者懇談会に参加していた縁で、学生研究員が地域振興のためのフィールド調査を開始。その過程で醸造家に出会う。

2018 〔第二期〕販売に向け下準備

第一期メンバーが構想した、小豆島町の醸造家とのコラボによるビール開発に向けて動き出す。赤しそを現地へ送るなど、この企画を実現するために様々な下準備を担った。

2020 〔第三期〕完成・販売開始

いよいよビールづくりがスタート。学生研究員が小豆島町まで足を運んで仕込みから完成までの作業に関わる。並行してラベルデザインや販路拡大、商品PRにも力を注いだ。

Q 作ってみてどうだった？

大学生が実際のビールづくりに携わる機会はないはずで、とても貴重な体験ができました。醸造前の原液を試飲したときは、しその風味もなく、ピンときませんでした。それが完成直後に飲んだときは、「あつ、おいしい！」という言葉が自然に出てきました。



Q 今後の目標は？

本当のゴールは、小豆島町の伝統行事である秋祭りの担い手になることと、現地でインターンシップを実施することです。ビールはあくまで通過点なのですが、好評だったので信頼関係を築く有効なツールになりました。ビール事業も継続しながら活動を続けます。



ビールが
できるまで

① しその準備



枝と葉を分けて、葉だけを冷蔵便で島へ送りました。

② 小豆島へ



醸造を引き受けてくださった「まめまめびー」さん。

③ 麦芽を粉砕



ビールづくりの始まりはミリングという麦芽の粉砕から。

④ 仕込み・発酵



しそと粉砕した麦芽を混ぜ、釜で煮た後、発酵させます。

⑤ 販売準備



ネーミング、パッケージデザインも学生研究員たちの手で。

⑥ 完成



茨木市見山産の赤しそを「トコト」使った逸品が完成！

Topics

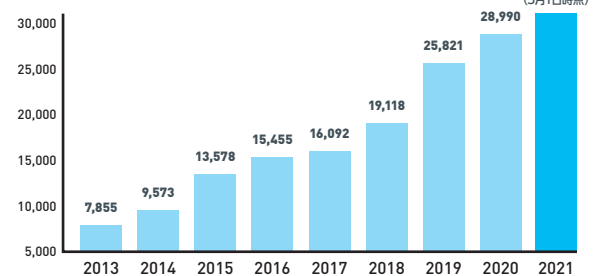
大学入試志願者9年連続増加が確定！2021年度入試では総志願者数が3万人を超える

追手門学院大学の2021年度入試（2021年4月入学の学生が受験）の延べ総志願者数が3月1日時点で3万人を突破し、9年連続の増加が確定しました。

2020年度入試では総志願者数が28,990人となっていました。

茨木総持寺キャンパスの開設や教育の充実などの取り組みが寄与していると考えられます。

▶2013（平成25）年度からの追手門学院大学の延べ志願者数の推移



OTEMON NEWS AND TOPICS

〔 追手門ニュース&トピックス 〕

人権について考えよう

知る、学ぶことの意味 ～ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂)の観点から～

副学長 金政 祐司

SDGsという言葉を、近年、さまざまなところで耳にするようになりました。SDGsは、2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)のことですが、その根底には、世界中の「誰一人取り残さない」という理念があります。その理念に到達するための一つの道筋におけるキー概念となり得るのが、ダイバーシティとインクルージョンです。

ダイバーシティの意味は多様性です。私たちには、性別や人種、身体的な特徴、また、価値観や文化的背景など、さまざまな社会的属性が付与されており、そのような属性は個人によって異なります。インクルージョンとは、包摂という意味で、多様な属性をも

つ人たちが、互いに認め合い、尊重し合うことのできる集団や社会をどのように作り上げていくのかということです。ダイバーシティが、集団や社会にとってポジティブに作用するか、ネガティブに作用するかは、このインクルージョンにかかっていると言っても過言ではありません。仮にダイバーシティが、分断を生み、集団や社会のメンバー間の葛藤や排斥を助長してしまうのなら、それは多くの人たちにとって、望ましいものとは言えないはずです。

ただし、多様性を認め合い、互いを尊重し合うといっても、そう簡単にできることではないでしょう。心理学には、類似性・魅力仮説というものがありますが、私たちは、自分と似たような考えや意見をもつ人たちのこ

とは好意的に評価しやすいのですが、そうでない人たちに対しては否定的な見方をしてしまいがちです。特に、現代のように、SNSを通して、自分と考えや意見が合う人としかコミュニケーションを取らなくてもよい、あるいは、そのような人たちと選択的に関わることができる状況では、自分の考えや意見を先鋭化させ、それに拘泥してしまいかねません。そこから抜け出すために必要なのは、心がけや聞こえのよい言葉への共感などではなく、多様な価値観や文化的背景について知る、学ぶことです。知る、学ぶということは、自分の知識を増やして自らに役立てるための行為というだけでなく、多様性を認め、他者を尊重するための行為でもあるのです。

Topics

改革力が高い大学ランキングで
関西私大4位に

株式会社大学通信が全国の高校2,000校に調査したアンケートの「改革力が高い大学ランキング2020(全国編)」において、本学が全国で23位、関西の私立大学で4位にランクインしました。

Topics

国税専門官に3名が合格！

2020年度の国家公務員試験において、国税専門官に3名が合格しました。

合格をした3名は全て本学の資格講座を受講した学生で、合格した仲尾一輝さん(経済学部2021年3月卒業)は「就職に役立てるために始めた資格講座ですが、講座の受講生たちと教え合いをしながら、毎日勉強に取り組み、国税専門官に合格することが出来た。学生生活では目標を持って、何をやるかが大切です」と振り返りました。



Topics

驚異の合格率!行政書士試験に
29名が合格

資格講座で2019年度に国家資格である宅建試験に70名が合格したのに続き、2020年度は行政書士試験に57名が受験し29名が合格しました。

合格率は全国平均10.7%に対して、約5倍の50.9%を達成しています。

Topics

国際学部と文学部を開設
(いずれも仮称・構想中)

2022年4月に現在の国際教養学部を改組し、英語をベースに経営学の理論やビジネスに関するケーススタディなど社会科学系科目を取り入れ、国際社会で活躍できる人材を育成する国際学部と、人文科学により特化し、日本文学、歴史文化、美学・建築文化の3つの分野で構成する文学部を開設します。(構想中)

Topics

学友会「追風」主催
第3回関西学生サミットをオンライン開催

近畿と北陸にある9大学の学友会・学生自治会の代表が集まり、学生自治活動の活性化を目指し意見交換を行う「第3回関西学生サミット」が12月19日(土)にオンラインで開催されました。追大の学友会組織「学友会追風」が呼び掛けて開催されたもので、コロナ禍での学生自治活動やSNSやライブ配信を使った情報発信方法について議論を交わしました。

Topics

日建連表彰BCS賞に
Academic Arkが選出

茨木総持寺キャンパスのAcademic Arkが、日本建築業連合会が表彰する第61回BCS賞を受賞しました。BCS賞は建築資産の創出、文化の進展と地球環境保全を目的とし、毎年国内の優秀な建築作品に贈られる賞です。Academic Arkのまるで宇宙船のような先進的なデザインと、その中に詰め込まれた建築技術が高く評価されました。



Topics

コロナ禍でも繋がる
オンライン国際交流プログラム開催

新型コロナウイルス感染症の影響で全ての交換留学が中止となる中、オーストラリアにあるサンシャインコースト大学の授業と本学の授業をオンラインで繋いで、「日本文化」を一緒に学ぶ授業を10月12日に開催しました。

本学からは8名の学生が参加し、サンシャインコースト大学からは16名が参加して、オンラインで交流しました。



Topics

中学校教員採用試験に
4名が現役合格

2020年度の大阪府教員採用試験で、中学校国語科に3名、社会科に1名が現役合格しました。

Topics



優秀賞を受賞した藤好ゼミの3人



特別賞を受賞した女性活躍プロジェクトの3人

関西広域連合協議会大学生等意見交換会」で優秀賞と特別賞

2020年12月5日、オンラインで開催された「関西広域連合協議会大学生等意見交換会」で、経済学部 藤好ゼミの4年生 山下璃子さん、山下由乃さん、野口凛登さんの3名は「関西の食をテコに国内外のファンを作る」施策を提案し、優秀賞を受賞。

経済学部の女性活躍プロジェクトで長町先生の指導のもと演習を行う経済学部4年生の岡田佑斗さん、東條奏子さん、松山優花さんの3名は「地域の特産物を缶詰にして、万博で国内外に広げる」施策を提案し、特別賞を受賞しました。

いずれもテーマ設定や、企業と学生のコラボレーションなどの点で高い評価を受けています。

Sports

アーティスティックスイミング
日本選手権の団体で金メダル

学外のクラブでアーティスティックスイミング競技に取り組んでいる川瀬由華さん(社会学部2年)は、2020年11月に開催された日本選手権に所属クラブのチームの一員として出場し、4種目で金メダルを獲得しました。



Sports

少林寺拳法部
全日本学生大会で準優勝

少林寺拳法部の植松弘貴さんと小林明史さん(いずれも経営学部2021年3月卒業)は2020年11月に日本武道館で行われた「全日本学生大会」に出場し、男子三段以上組演武の部で準優勝しました。



Special Topics



女子大生アイドルコピーダンスで日本一を目指す大会
UNIDOLのオンラインコンテストで準優勝

追大のアイドルコピーダンスサークル「純白のアスター」に所属するささきぴさん(心理学部2021年3月卒業、活動ネーム)が、2020年8月7日に結果発表されたオンラインアイドルコピーダンスコンテストで準優勝しました。

また、所属するチーム「純白のアスター」も2020年12月14日になんばHatchで行われた、UNIDOL2020-21 Winter 関西予選にて、清廉さとチャミングな表情、バラードを交えたステージングが観客の心を掴み見事

優勝。関西No.1の座を手に入れました。

サークル1期生メンバーでもあるささきぴさんは「初めて全国大会に出場することが出来ました。衣装・映像・構成など、みんなと本気で取り組むことで、自分自身が成長できる良いきっかけになりました」とコメント。

なお、東京への緊急事態宣言の再延長を受けて、残念ながら3月17日に予定されていた全国大会は中止となりました。今後の活躍に期待しています。



BOOKS

追手門学院大学・
教員の著書 (五十音順)

※教員の所属学部は2021年3月
時点のものです



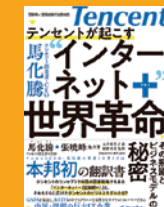
感情とは
そもそも何なのか
現代科学で読み解く
感情のしくみと障害
乾敏郎(心理学部)著
2020年4月/連流出版公司

脳の大統一理論
自由エネルギー原理
とはなにか
乾敏郎(心理学部)共著
2020年12月/岩波書店

制度でわかる
世界の経済
制度的調整の
政治経済学
宇仁宏幸(経済学部)共著
2020年3月/ナカニシヤ出版

一人で思う、二人で語る、
みんなで考える
実践!ロジコメソッド
追手門学院大学(成熟社会研究所)編
2020年7月/岩波書店

PsychoPyでつくる
心理学実験
蔵口佳奈(心理学部)訳
2020年8月/朝倉書店



追手門
学院大学
出版会

2020証券アナリスト
第2次レベル 進捗教育講座テキスト
市場と経済の分析
第6回国際経済・金融の諸問題
梶庭千尋(経済学部)著
2021年2月/公益社団法人
日本証券アナリスト協会

テンセントが起こす
インターネット+
世界革命
永井麻生子(基礎教育)訳
2020年10月/アルファベ
ータックス

地域創造の国際戦略
地方と海外がつながる
レジリエントな社会の構築
藤原直樹(地域創造学部)編著
飯田星良/岩田聖子/
佐藤敦信/安本宗春 著
2021年2月/学会出版社

よい判断・意思決定
とは何か
合理性の本質を探る
本田秀仁(心理学部)著
2021年2月/大日本法令印刷

電子出版学概論
アフターコロナ時代の
出版と図書館
湯浅俊彦(国際教養学部)著
2020年11月/出版メディアパル

数奇の場所を
文学化する
宮本輝の小説作法PARTII
真鍋正宏(国際教養学部)著
2020年11月/追手門学院大学出版会